



社会福祉法人鶴風会

後援会ニュース

No. 9 (昭和54年)
社会福祉法人鶴風会
後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区
本町2-15-13 ☎03-372-7650

後援会ニュース9号をお届けします。

今号は創立十五周年を迎えた、東京小児療育病院の療育の歩みと本年十月で四回目のチャリティバザールへのお願いを中心に編集いたしました。

創立十五周年を迎えて

社会福祉法人鶴風会

理事長 本明登志子

後援会の皆様におかれましては、お元気に御活躍のこととお慶び申し上げます。

昭和四十八年に社会福祉法人鶴風会後援会が発足して、毎年

の後援会費・御寄附・チャリティ・バザール・チャリティ・パーティー等の御協力をいただきまして役員一同心から感謝いたしております。お蔭様にて本年四月、東京小児療育病院は創立十五周年を迎えることが出来ました。この喜びの日を迎えることが出来ましたのもひとえに皆様方の温かい御支援によるものと、厚く御礼を申し上げます。

本事業は社団法人東邦大学医学部鶴風会(東邦大学同窓会)で計

画されました。何か社会のお役に立つ仕事をしたいという願いから約五年間の準備期間を経て昭和三十九年四月に開院のはこびとなりました。

私共が本事業を計画いたしました二〇年前と現在とを比較いたしますと国の福祉行政は大きく飛躍し、障害児をとりまく環境も著しく変わりました。また東京小児療育病院も脳性マヒ児の早期治療としての医学的対応の方法と内容が整ってまいりました。

この十五年間、脳性マヒ児の早期治療(退院患者約八〇〇名)・啓蒙と発生の予防、及び重症心身障害児の療育に成果をあげ、社会のニーズに応えることが出来まし

たのは、藤永院長をはじめ職員員の献身的な努力によるものでございます。

現在、東京小児療育病院は約九〇名の幼小肢体不自由児に早期治療を、又併設の重症心身障害児施設みどり愛育園は五〇名の重症児に療育を行ない、更に外来診療・通院訓練を行っております。

このような療育を各専門職員一七〇名があたっており、直接看護職員は東京小児療育病院は患児一・五人に対し職員一人、みどり愛育園は患児一・三人に対し職員一人を配置しております。

奇しくも本年は国際児童年にあたります。私共はこの一五年の療育結果をもとに今後もっとも効果あるリハビリテーションサービスマス故、これからも引き続き御支援と御協力を御願ひ申し上げます。



十五周年を迎えて

ケースワーカー 清宮 祥子

私がケースワーカーとして当院 不自由児施設として大変な苦勞のお世話になりましたのは、昭和四十六年九月のことです。

二年後に、十周年誌の編集に携わり、今、十五年誌の編集にあたり、今、十五年間の歩みは飛躍的な進歩を遂げ、「隔世の感あり」という言葉を用い、私も過言ではないと思われま

すように、学令児を入院訓練の対象としておりました。年々、早期治療が叫ばれてきましても、入院訓練という形態をとる限り、学令前

一年の保育園、幼稚園の年長さんを対象としてきました。肢体不自由児施設の入所児が、先天性股関節脱臼



やポリオの子供たちから、脳性マヒ

の割合が多くなり、それにつれて入所児の年齢が低められ、三才から受入れる施設も増えてきました。

しかし、まだ、

ごはんがひとりりで食べられない、おむつがとれない、お座りも出来ないなどという重度の障害児は入所の対象からはずされております。

「脳性マヒで、しかも三才以下の子供たちを単独入院させます」というキャッチフレーズは、十五

年前に逆のぼって考えます時、大変無法なことだと非難の声が聞かれましたことも想像に難くありません。

この十五年間に約九百五十人の子供たちが入院いたしました。訓練を目的に一年の子定で入院しても、ご両親が入院継続を希望されたり、訓練上必要であったりして平均入院期間は約三年になっております。

私が就任しましてから、母子分離がむずかしい、あるいは入院不適應のために体調が整わず、退院せざるを得なかったケースは数例にすぎませんでした。

表1に示しましたように脳性マヒ児ばかりでなく、精神運動発達遅滞(精薄)の子供たちも入院してきました。二分脊椎、奇形、その他の疾患の子供たちもより早く歩行が出来るようになることを考えて受入れていきます。

しかし、十五年間を平均しますと、脳性マヒの子供たちが八十二

%をしめております。

子供たちは表2に示しましたように基本的な生活習慣でありますところの食事、排泄、衣服の着脱等がほとんど一人では出来ません。

この子供たちにすこしでも、ひとり出来る部分が増えてゆくことが何よりの楽しみであります。

病棟に於ける子供たちの生活指導の第一は「ごはんがひとりで食べられるようになることです。三度の食事はどうれしいものはありませんし、無理やり、口にはこぼれるよりも好きなものから順に食べていくことの方がどんなにうれしか知れません。

よい姿勢で上手によくかんで食べることは言語訓練、技能訓練上大切なことです。子供たちの運動機能の状態に合せて、いろいろな椅子やテーブルが検討されてきました。昼食時には訓練士、言語治療士も食事指導に入っています。

八年前には職員のひざを枕にほぼ寝たような姿勢で食べさせていたのですから、ずいぶん変わってきたものです。

次に大切なことは、おしっこを教えられるようになることです。時間を決めておしっこは出るかと聞き、おむつがぬれていない時は、便器に腰掛けさせることから

はじめます。ある程度、排尿の間隔がわかりましたら、おむつははずしてしまします。声の出にくい子供たちのおしっここの合図についても検討されます。

おむつ取り大作戦が展開された時は、職員が全員協力してチェックリストに記入し、かなり理解力の低い子供でも、おむつがはずせました。

衣服の着脱についても、いろいろ試みられています。

子供たちにとって大事な遊びについては児童指導員と病棟の職員が工夫を重ね、体をすこしでも動かせる遊び、友だち意識の芽ばえる遊び、文字に興味を持たせる遊びなど試みてきました。

病院職員は大巾に増えておりまして、昭和五十一年十月より特二類の看護をとっております。児童指導員も七人になりました。

さて、かんじんの機能訓練についてですが、訓練棟は昨春秋、十五周年に向けて大改装が行われました。窓は大きく明るくなり、言語の訓練室も立派になりました。

訓練士の数も年々増え、現在、理学療法士九名、作業療法士五名、言語治療士三名で、一対一でひとり四十分という訓練が出来るようになりまして、訓練士の研修も積

まれ、訓練の内容もすいぶん変化してきました。

入院時の児童の運動機能の状態について訓練室で過去五年間についてまとめたものを見ますと、首がすわっていないために動作の不可能な子供たちが二十%もおりました。訓練の結果、そのうちの半数は腹這いで頭を持ち上げるなどの新しい変化を見せましたが、残りの半数は首のコントロールがうまく行かなかったようです。非常に緊張の高いアテトーゼの子供たちではなかつたかと思われま

最高の目標であります歩行が可能となった子供たちは二十%でした。六十九%の子供たちは訓練の効果があつたといえますが、訓練室が充実してきましたのは、ここ一、二年のことですから、これらが期待されるどころです。

以上、簡単にワーカーの目から見た十五年について述べてまいりました。いまだに院の外では幼児の入院について、その是非論が渦をまいております。非とする意見の方が多いかも知れません。十五年経ちました今日でも、た

だひとつの幼少児の肢体不自由児施設であります。

長期入院により、予想されます弊害につきましては、ご両親が積極的に療育に参加することにより解消されます。週末は必ず家庭で過ごすことにより、子供たちの情緒の安定がはかれ、親子ともども励みとなり、療育の効果が高められて行くことは実証されてきたといえます。十五周年を迎えて、私ども職員は多くの方々のご好意とお力添えに感謝し今後、父母との協力を一層深めて期待におこたえしなければ——との気持を新たにしております。

表1 年度別疾患別入院児童数

疾患年度	脳マ	性ヒ	精神運動発達遅滞	てんかん	変疾	性患	他の整形外科疾患	その他の患	計
39	143	7	3	4	2	1	160		
40	50	0	3	0	0	2	55		
41	51	1	2	2	1	0	57		
42	51	5	2	2	2	3	65		
43	88	0	4	1	2	2	97		
44	42	0	1	1	3	4	51		
45	67	3	0	0	0	6	76		
46	36	3	0	2	2	1	44		
47	18	2	0	1	1	1	23		
48	33	2	0	0	2	2	39		
49	40	4	1	0	0	3	48		
50	29	13	0	0	0	5	47		
51	53	7	0	0	1	4	65		
52	42	13	2	0	1	5	63		
53	33	6	3	0	1	9	52		
計	776	66	21	13	18	48	942		
%	82.4	7.0	2.2	1.4	1.9	5.1	100%		

表2 日常生活動作の状況について (昭和54年3月現在)

	食事	排泄	着脱
自立	22	5	6
半介助	25	29	16
全介助	29	42	54
計	76	76	76

▼お知らせ▲

社会福祉法人鶴風会・東京小児療育病院・みどり愛育園・鶴風会後援会・父母の会合同のチャリティ・バザールが来る十月七日(日)開催の運びとなりました。

昭和五十一年にはじめてバザールを開きましてから皆様方の善意に支えられて早や今年では第四回をむかえます。

昭和五十一年度 純益 三、二〇二、七七九円
昭和五十二年度 純益 二、七三〇、四七八円

昭和五十三年度 純益 三、八七四、五五六円
以上の収益は訓練棟整備(床・窓の改造・聴言室の新設)、看護婦仮眠室・更衣室の新設等の成果をあげることが出来ました。まことに有難いことと御礼申し上げます。

本年は水治訓練棟建設・玄関・浴場等の改修及びみどり愛育園児の義務教育化に伴う通学用施設の建設資金のためにバザールを行いたく、皆様方の一層の御支援をお願い申し上げます。

— 常日頃温かい御支援をいただき心より感謝申し上げております上、誠に恐縮でございますが皆様方の御家庭に御使用にならない品物(食料品・ウイスキー・石鹸・陶漆器・衣料品・ペビ—用品・玩具・手芸品等)ございましたら、御寄附・御協賛賜

りますようお願い申し上げます。
なお御寄附の御連絡・お問合せは左記にお願いいたします。

社会福祉法人鶴風会・東京小児療育病院
東京都武蔵村山市学園四一〇一一 ☎(四)五六一二五三

社会福祉法人鶴風会後援会
東京都中野区本町二一五一—三 ☎(三)三七七五〇〇

父母の会
東京都港区赤坂五—一—三二 常支寺内竹中広夫 ☎(三)五九三〇三三

なお十月七日チャリティ・バザールは東京小児療育病院内で開催いたしますので、当日は皆様お誘い合せの上お越しくださいますようお願い申し上げます。

後援会寄付者御芳名

バザール寄付者をふくむ
アイウエオ順・敬称略
六九四名(五十丁番七)

赤司俊雄・青木幹恵・浅利重子
天野まき子・青木ゆう・青木よし子
安西美代・相沢ミツエ・安倍マサ
安東敬子・赤羽久子・新 幸子
阿部賢晴・阿久津絹江・天野悦男
芥川芳枝・青木 瞬・赤川セツ
足達みき子・朝倉富美子・秋山延子
新井恒子・秋山貞子・足立嘉子
青木文雄・新井時枝・池田謙三
飯田昭子・井口洋一・井上照子
井上瑞穂・井上幸子・市川寿雄
井上トキ・磯村 光・飯国桃夜
伊藤 礼・板倉玉子・稲垣玲子
五十嵐いづ子・伊藤徳子・池田愛子
稲葉真理・石原 純・伊村欣祐
伊藤友二・井上裕子・一宮勝也
家原小文治・磯部昌子・岩崎裕三
市川ハナ子・今野英子・出井 道
石原道俊・石原恵子・池羽トク
伊藤恵子・伊藤マサ・今井幸子
飯塚英子・石田秀子・井口昌亮
上高嘉納子・白井重三・宇都宮幸枝
内ヶ崎仁子・内田 孝・浦田とめ子
牛込莊一郎・梅原公江・内田博之
梅田寛子・白井信郎・上田 茂
江田フジ・海老原ふみ江・小川再治
小川 昭子・小川 文子・大嶋 功
大月佐東子・大谷明子・大森楨子
小田幸子・及川 貞・及川 忠
岡田孝子・小田 けい・大下久代
小原正樹・大脇照枝・小俣文栄
大熊 進・大熊はつみ・小野沢純
大室輝雄・大木秀子・大槻正路

長田絢子・小野知子・岡村シマ子
及川公美子・奥田霏子・大類キヌ
閑院純仁・笠井 和・川合朝子
勝見富美・川島文子・釜范登志子
風岡とき・亀谷 了・金子忠子
郭 博文・川路春雄・川野アヤ子
加嶋伊勢子・鎌田直子・菊地久子
菊池聖子・岸田千代子・岸 茂子
木村甲子郎・岸 直枝・菊池志よ子
北村清明・山本博夫・木村きよ子
倉島撰子・栗田行雄・久木留節雄
日下孝子・工藤訓正・呉みどり
呉 美村・栗田菊枝・葛野シヅ
久木元久枝・倉根理一・幸田文一
幸田トミ・幸田トモ子・小松よう子
小林敏博・小林義郎・駒林とめ子
古賀和子・後藤千恵子・小林京子
小関敏子・呉 政子・小松栄一
小池トシ・近藤みさ子・後藤幸子
小林貞子・小味潤 稲・小泉敏子
小山伊松・佐々木明子・佐藤欣治
左京 福・斉藤イサヲ・斉藤英子
佐藤艶子・佐々木 綾・猿橋勝子
佐藤タミエ・坂元八千代・指田和明
佐々木庄八・佐藤瑞枝・西條 道
佐井由美子・佐藤照子・斉藤捷夫
佐倉 博・佐藤ツヤ子・佐竹敏一
坂井タマノ・佐藤和子・斉藤みどり
斉藤長則・島津幾之進・白石 勲
白石芳子・篠塚清志・正田二寿子
霜鳥トミ・島 積善・島 秀夫
白幡八重子・嶋野 栄・東海林幸子
下田喜久代・下村節義・篠見克子
下村弘毅・志村光久・下山端己子
篠原広茂・渋谷ハナ・須藤さみ子
鈴木繁雄・鈴木楨子・杉本寛子
末吉美子・鈴木信宏・鈴木君子
鈴木静子・鈴木良子・鈴木美佐江
須藤寧子・鈴木 巖・関 静
関根嘉子・側垣恵子・多田久男

高橋百合子・田鍋庸子・立石直毅
竹内三姉子・田中政五郎・高垣益子
田中三重子・竹田北照・高木輝雄
高橋三代子・高桑明子・高木松枝
田郷寿正・多田正子・田崎トシ
多比良 勉・田島高子・竹内敏之
田島静江・田村奈保美・田中 勲
伊達愛己・伊達陽子・高月正宏
津金修作・辰本寿美・高橋里美枝
津田直子・塚本正子・筒井こぶ
土屋満枝・鶴岡康子・塚越京子
出構昭子・手塚まち子・寺本みや
土肥幸枝・戸田芳江・道下富信
徳重隆幸・豊川美枝子・戸塚塚トシ
遠山光子・中里玉子・中島由紀
中館君枝・中野敏枝・中村富美代
中村登紀子・長野文子・中谷孫一
直井貴美子・中嶋ふさ・中川甲子
中平喜美子・中山 礼子・中山年子
中澤弥生・中山久子・中尾淑子
中島シズ・成毛典子・二宮文乃
新実静江・西村喜美子・西本麗子
西田文子・西岡 将・葦山まり子
西澤彦士郎・野原 彰・野沢良美
野沢多津美・野沢典美・野沢和枝
野崎成子・野村正征・熊谷正雄
野口登志子・濱沼ゆき・橋本静子
蜂須賀富美子・浜田雅峰イソ子
半沢 紀子・林 敬・羽生通恵
原村静子・長谷山陽子・長谷川淳
原 信子・林 茂樹・林 敬一郎
林 睦子・橋本フユノ・濱田 美
馬場 健一・林 美香・原田 孝
日野チヨコ・平沢幸子・比留川 真
日山ゆき・平岩扶美子・東野寿美
樋口正俊・平岡真理子・福田栄子
古野寿子・藤本貞子・福永ひろ子
藤井京子・藤岡美津子・古川 明
藤崎きよ・藤田トミ・深野和子
堀 友之進・星野和子・星野昌子

堀江久治・本間義章・本田哲子
発地瑠璃子・松永健一・松下芳男
増田良二・松沢義人・俣野昭一
松岡栄子・増田富士子・真木篤子
丸山和子・町田純一・牧野忠夫
松藤千代子・松尾キミ・松村あや
松元久子・増田登志子・宮崎明子
三浦眞一・三戸 緑・宮本みち
宮川和幸・宮山フミ・宮本一郎
宮川 香・三宅 泰雄・宮崎よし
水上淳子・村上リョウ・武藤京子
村松功雄・武藤キヨ・本明 寛
森田和子・守屋孝子・森川幸江
森田てい・守田文彦・森神千代
柳沢濱子・山田寛司・山下文子
山口真一・山口辰雄・山田純子
柳原福代・山田三枝子・藪本瑛子
山本徳治郎・矢島 正・山崎トキ子
山本昌一・屋代英也・山田公美
山本節子・矢吹兵弥・山崎婦さ子
山田琴子・山田カツ・柳瀬武司
谷口量子・湯川玲子・吉永弘子
吉田実子・吉田千恵子・横山正子
吉田喜一郎・吉松 博・米山士朗
吉井 明・米沢マチ・吉森隆恵
吉田正己・渡満礼子・若杉まり子
渡辺和子・渡辺古都江・渡辺静子
渡辺幸子・渡辺 明・藤川寿社中

電機(株)・代々木ライオンズクラブ
・東京芝浦ライオンズクラブ・大
成(株)・やっちゃん基金・大仁
商店・鹿島建設(株)
瀬谷健二・田所勝次郎・相川憲石
清 水・中沢敏子・七重会
村 井・池田節夫・柳沢浜子
堀越 洋・越谷秋治・藤野史郎
若江乾尚・長子・武蔵村山市役所
白木善四郎・神田敬子・吉田喜一
龍 泰輔・児玉筆子・竹内秀子
伏 竜・鳥越和美・石井炭子
白鷗高校生徒会・葛 飾 学 園
東 大 和 高 校 生 徒 会
後藤マン・渡辺菊子・板倉玉子
武蔵野女子 大家政学部
満尾千恵子・佐倉 博・坂井タマノ
荻窪 一郎・藤 院・鶴風会後援会
岸野陽一郎・斉藤通明・水谷春樹
山北美紗子・玉川学園・鈴木文子
郭 慶寧・鈴木かつえ・米山弥平
鳴友学園・久武和代・帰山悦郎
及川 千鶴子・押 見 奈都代
宮崎 幸子代・原 野 道 子
糸 静 子
子 供 の 礼 拝 一 同
セ ン ト ラ ル 病 院

〔病院扱分寄付者御芳名〕

前川 報恩会・丸 紅 基金
東京共同基金会・東京馬主協会
清水 基金
日本経済新聞社・安田火災海上保
険(株)・東京電力(株)・田沢製作所・
生命保険協会・杉並ライオンズク
ラブ・いすゞ自動車(株)・ヤクルト
球団・妙智会・実務教育出版(株)
修養園・杉並東ライオンズクラブ
・立川社会福祉協議会・東京芝浦

皆様よりのご要望が多いので、
今後郵便局の振替え用紙は毎回、
後援会ニュースに同封致しますの
でご了承下さい。

なお、このニュースについてお
気付の点は事務局まで連絡下さい。